

謹賀新年



12月10日 白沢

新年明けまして

おめでとうござい、います

令和八年（二〇二六年）が

いい年でありますように

皆さまのご健勝、ご多幸、

ご活躍を心からお祈りします

枕崎市長

力強く、前へ進む一年に。市民の笑顔があふれる一年に。

新年明けましておめでとうございます。すこやかな新春をお迎えることとお慶び申し上げます。今年が市民の皆さまにとりまして、素晴らしい年になりますよう心から祈ります。

昨年は大阪・関西万博、東京世界陸上などの世界的なイベントが国内で開催され、多くの外国人の方が日本を訪れた、国際化の動きが加速する一年となりました。スポーツ界でも、8大会連続のW杯出場を決めたサッカー日本代表の中心選手は多くが欧州で活躍し、メジャーリーグでは大谷選手をはじめとする日本人選手が活躍する

など、国際化、グローバル化の波が各界に及んでいます。

一方でなかなか収束が見えず2月には5年目に突入することとなるウクライナ戦争、イスラエルとハマスの停戦合意はあったものの今なお不安定な中東情勢、欧州の移民問題、米国トランプ政権下での相互関税発動など世界情勢にはさまざまなリスク要素が存在しています。

国内に目を向けると、暮らしにおいて「令和の米騒動」と言われた米の価格高騰をはじめ、原油高騰や輸入品の高騰などに起因する物価高が私たちの暮らしを苦しめています。そのような中、我が国では7月の参議院選挙の結果を受けて10月に誕生した高市政権が、前

政権下で停滞・不安定化した流れを一気に取り戻そうと「復活」と「再生」への土台づくりに奔走しているのが、ここ数力月の印象です。

昨年の巳年は、その「復活」と「再生」が期待された年でしたが、今年は午（うま）年、馬は「情熱」と「変化」そして「力強い前進」を象徴する干支とされているようです。新政権下で日本が力強く前進していくことを期待しつつ、本市としても遅れることのないよう、進めていきたいと思っています。

昨年の本市は、一昨年に2日間開催に戻った「さつま黒潮きばらん海枕崎港まつり」や第4回枕崎国際芸術賞展の開催に加え、全国農業担い手サミットや全国ローカル鉄道サポーターズサミット、南薩地区植樹祭、枕崎市かつお公社の50周年感謝祭、農業祭、新酒祭り、一年を通して市内外の多くのお客様に本市でのイベントを楽しんでいただきました。

また、秋には東京の青山通りで「まくあけ、まくらぎき枕崎市プレミアムマーケット」という「枕崎ブランド」を発信するイベントを開催し、首都圏の皆様に枕崎を体験していただきました。これからもさらにこのブランド発信イベントを磨いていき、枕崎鯉節や焼酎

などの食品製造業の力、お茶、電照菊、甘しょ、果樹や畜産などの農業の力、本市の産業力を力強く発信していきたいと考えています。少子高齢化、人口減少が加速している現状ではありますが、本市の底力を発揮して、若い世代が明るい将来設計を描ける社会、そして強く豊かな社会を土台として、子どもから高齢者まですべての市民が笑顔でいきいきと暮らせる枕崎市をみんなで作っていく一年にできたらと思います。

今年は市の将来都市像を示す第7次枕崎市総合振興計画と地方創生を加速させる第3期枕崎市地方創生総合戦略を起動させる大切な一年となります。市民の皆さまの力を合わせて枕崎市を強く豊かに前進させていきましょう。

結びに令和8年が皆さまの笑顔あふれる年になりますよう心から祈年して新年の挨拶といたします。